

原発 ゼロ にむかって

2012年6月12日 No.22

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

編集・発行／東京民医連事務局 tel : 03-5978-2741 fax : 03-5978-2865 mail : sien@tokyominiren.gr.jp

6.5 全国公害被害者総行動デー 「家族を奪った原発 いまこそ廃炉に！」

(福島県代表 樽川さん) 6月5日の全国公害被害者総行動で、福島で農業を営む樽川さんは原発事故により作物が出荷停止になった翌日に自殺した父親の無念を訴えました。日比谷公会堂では南葛勤医協の吉澤理事長が全日本民医連を代表して挨拶し、大気汚染や水俣病の取り組みとともに、東海原発臨界事故をテーマにした本、「朽ちていった命―被曝治療 83 日間の記録」を紹介して、人類と放射能は共存できないことを訴えました。



東京ほくと 平和学習会「核廃絶に向けての展望」を開く！

6/5 (火) 北とびああすかホールにてスティーブン・リーパー広島平和文化センター(原爆資料館)理事長の講演「核廃絶に向けての展望」が行なわれ参加者は100名でした。現在の反核運動への問題提起「9条を持つ国としての責任、若い世代への活動の継承」がされ、会場からは「戦争文化ではなく平和の文化を全世界で選択できる展望が見えた。」「核保有国抜きでも廃絶条約つくることで核はなくせる！」など今後の運動を意識した発言が数多く出されました。(東京ほくと医療生協 組織部 森松伸治)



健友会 各診療所で「小さな被爆写真展」を開く！

各診療所の待合室のスペースに合わせ、城西診療所、桃井診療所、西荻窪診療所、共立診療所の4つの診療所で「小さな被爆写真点と署名のおねがい」の取り組みを行いました。ヒロシマ、ナガサキの被爆写真と昨年9月19日「さよなら原発集会」(明治公園)、今年の3月11日の「原発ゼロ集会」(井の頭公園)などの写真を展示しました。展示が5月いっぱい行われました。



さようなら原発 10万人集会

2012 **7/16** MON
(海の日)

代々木公園 イベント広場・ケヤキ並木・サッカー場

東京民医連の参加目標

☆ ☆ **1900人!**